

2017年新年会ご挨拶

1月25日

明けましておめでとうございます。昨年12月20日に着任し、本日アンゴラ在住の殆ど全ての皆様にお集まりいただき大変うれしく思います。

私は昨年12月20日に着任し久しぶりに静かに海外での正月を迎えました。実は30年前に一度ルアンダに3週間程滞在したことがあります。アンゴラはここ10数年で目覚ましい発展を遂げており、内戦中だった当時の面影は全くありません。想像していたよりもはるかに良くなっているという印象です。そのアンゴラの発展の陰には、今日ここにおられる方々、またはその先輩の方々など多くの日本人の方も、それぞれの活動を通じ、少なからず貢献されているのではないかと考えており、そのことについて改めてお礼を申し上げます。

アンゴラは長い間内戦が続き国土が疲弊しております。特に内陸には未だに多くの地雷が埋まっており、これが発展のボトルネックとなっていると言われております。日本も政府、NGO、民間企業が一体となって、オールジャパンで地雷除去に協力してきました。日本の協力というのは、地雷除去だけでなく、人材育成、地域社会への貢献があったということが重要ではないかと思えます。昨年、地雷除去を通じた国際協力の推進、日本とアンゴラの友好親善に寄与された功績を称えて「日本地雷処理を支援する会」に対して外務大臣表彰を行いましたのでここであらためて紹介させていただきます。

アンゴラは今過渡期を迎えており、石油だけに頼らない経済の多角化を目指しておりまだまだこれから発展していく可能性を秘めていると思います。引き続き皆様がそれぞれの立場で活躍されることを期待しております。日本は日本らしく質の高い物やサービス、技術移転、人材育成などを提供していくということで貢献できればいいなと思っております。どうか引き続きよろしく願いいたします。

昨年は、英国のEU離脱、米国の大統領選挙など世界で大きな地殻変動が起こり、多くの人が不安を抱えたまま2017年を迎えたのではないかと思います。皆様本年もどうか健康に留意されて素晴らしい年に祈念して私の挨拶とします。